

令和3年度 農業科（ハイテク農芸科）

教科	農業	科目	農業情報処理	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	「農業情報処理」（実教出版）						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

農業の各分野に共通する内容でもある情報処理の知識と技術について学習する科目です。座学を通して農業における情報化の進展と情報の意義や役割、活用について理解しましょう。また、実技を通して情報処理の基礎的な知識と技術を身に付けましょう。

2 学習の到達目標

- ・社会における情報化の進展と情報の意義や役割、活用について理解する。
- ・農業における情報処理と知的財産権に関する知識と技術を習得する。
- ・農業情報及び環境情報を主体的に活用する能力と態度を育てる。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観 点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	情報化社会の特徴や仕組み、農業や環境の情報に関心をもち、情報の収集・分析・発信に関する課題の探求に意欲的に取り組みとともに、その課題を科学的に捉えて合理的な態度を身に付けている。	情報化社会の特徴や仕組み、農業や環境の情報に関心をもち、諸課題の解決をめざして思考を深めている。基礎的な知識と技術を基に、課題を適切に判断するとともに、科学的に捉えて合理的に解決し表現する創造的な能力を身に付けている。	情報化社会の特徴や仕組み、農業や環境の情報に関する基礎的な技術を身に付け、情報の収集・分析・発信するプロジェクトを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	情報化社会の特徴や仕組み、農業や環境の情報に関する基礎的な知識を身に付け、情報技術及び情報通信ネットワークの活用が環境保全や農林業の持続的な発展に果たす役割を理解している。
評 価 方 法	学習状況の観察 ワークファイルの記述と提出状況 レポート、発表 自己評価	学習状況の観察 ワークファイルの記述と提出状況 レポート、発表 実技定期考査の結果 自己評価・相互評価	学習状況の観察 ワークファイルの記述と提出状況 レポート、発表 実技定期考査の結果 自己評価・相互評価	学習状況の観察 ワークファイルの記述と提出状況 レポート、発表 実技定期考査の結果
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学 期	単 元 名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1 学 期	農業の情報化	<ul style="list-style-type: none"> ・情報化社会、知的財産権と情報モラルについて考える。 ・農業の情報化が進んでいることを理解する。 	○			○	a: 農業と情報処理に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 農業と情報処理について課題を見出し、その解決に思考を深め、判断・表現する姿勢がみられる。 c: 農業と情報処理、ソフトウェアについて基礎的な技術を身に付け、その技術を活用している。 d: 農業と情報処理について理解し、基礎的な知識を身につけている。	学習観察
	情報の基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・ハードウェアとソフトウェアについて理解する。 ・情報通信ネットワークについてその種類や役割を理解する。 ・情報のセキュリティ管理について理解する。 	○			○		ワークファイルの記述と提出状況
	コンピュータによる情報活用	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトウェアについて理解する。 ・ワードプロセッサソフトを利用して文書を作成する。 ・表計算ソフトを利用してデータの処理を行うことができる。 ・画像や図形処理ソフトを使って基本的な画像処理を行うことができる。 	○			○		レポート 発表 実技 自己評価 相互評価 定期考査
2 学 期	情報システム	<ul style="list-style-type: none"> ・情報システムの種類と特徴を理解し、どんな技術が利用されているかを理解して考える。 ・リモートセンシングと地理情報システムの概要について理解し、取得した情報を活用する。 	○			○	a: 農業と情報処理システム、ソフトウェアについて関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 農業と情報処理システム、ソフトウェアについて課題を見出し、その解決に思考を深め、判断・表現する姿勢がみられる。 c: 農業と情報処理システム、ソフトウェアについて基礎的な技術を身に付け、その技術を活用している。 d: 農業と情報処理システム、ソフトウェアについて理解し、基礎的な知識を身につけている。	学習観察
	コンピュータによる情報の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットの概要と検索方法について理解する。 ・ワードプロセッサソフト、表計算ソフト、画像・図形処理ソフトをまとめて使い、基礎的な情報処理を行うことができる。 ・プレゼンテーションソフトを使って基本的なプレゼンテーションを行うことができる。 	○			○		ワークファイルの記述と提出状況 レポート 発表 実技 自己評価 相互評価 定期考査

3 学期	農業情報及び森林・環境情報の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・農業情報の種類と内容、それら伝達するためのメディアについて理解する。 ・森林情報の種類と内容及びその活用技術について理解する。 ・環境情報の種類と内容及びその活用技術について理解する。 	○			○	a:農業と情報処理、環境情報システムについて関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	学習観察
	農業学習と情報の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・農業学習とプロジェクト学習の特徴について理解する。 ・基本的な HTML を理解し、Web ページを作成することができる。 ・データベースソフトの特徴や機能を理解する。 ・プロジェクトをまとめ、情報通信ネットワークを活用して情報発信する。 	○	○	○	○	b:農業と情報処理、環境情報システムに課題を見出し、その解決に思考を深め、判断・表現する姿勢がみられる。 c:農業と情報処理、環境情報システム、ソフトウェアについて基礎的な技術を身に付け、それら技術を活用している。 d:農業と情報処理、環境情報システムについて理解し、基礎的な知識を身につけている。	ワークファイルの記述と提出状況 レポート 発表 実技 自己評価 相互評価 定期考査

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:技能 d:知識・理解

※ 年間指導計画 作成上の留意点

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。